

園子甲子園 東巻花



岩手日日新聞社

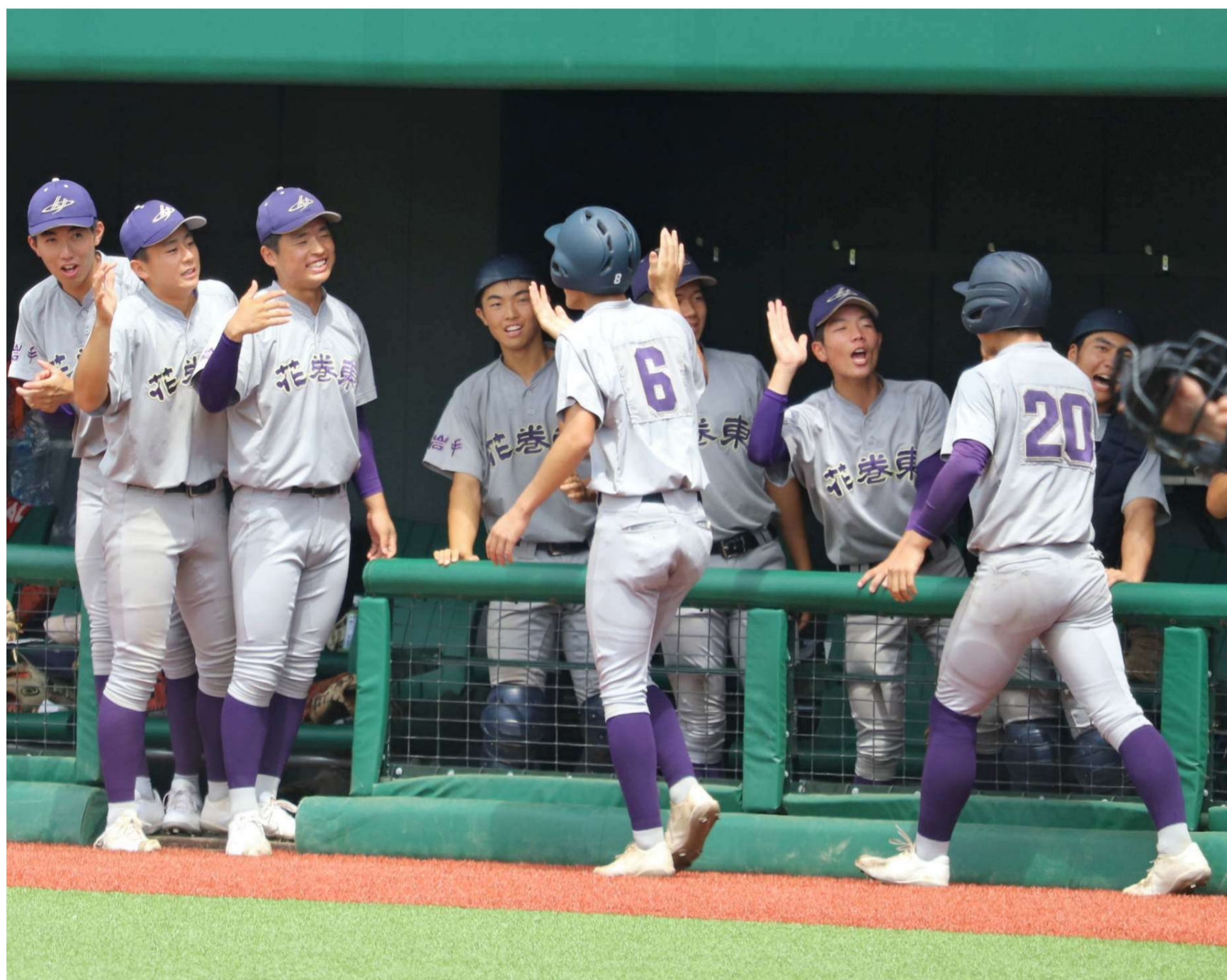
一関市東台14番地37
郵便番号 021-8687

編集局 0191(26)4204

©岩手日日新聞社

電子号外

盛岡三に10-0 4年ぶり11度目



【盛岡三ー花巻東】花巻東一回、4番北條の適時打で生還した三走久慈(背番号20)と二走熊谷(背番号6)を迎え入れる花巻東ベンチ。26日、きたぎんボールパーク

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
盛岡三	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
花巻東	3	3	0	1	1	0	2	0	×	10

第105回全国高校野球選手権記念岩手大会(県高野連など主催)は26日、盛岡市のきたぎんボールパークで決勝が行われ、第1シードの花巻東が、盛岡三を10-0で下し、4年ぶり11度目の夏の甲子園出場を決めた。

花巻東は、一回に1番久慈颯大(3年)の右前打と連続四球で無死満塁とすると、4番北條慎治(3年)の2点適時打と6番廣内駿汰(3年)の適時打で3点を先制。二回にも2番熊谷陸(3年)の2点適時二塁打などで3点を追加し、その後も得点を重ねた。

先発した右腕小松龍一(2年)は140キロ超の直球と切れ味鋭い変化球で相手打線を翻弄(ほんろう)。毎回の17奪三振で散発3安打に抑え完封した。

プロ注目のスラッガー佐々木麟太郎(3年)は四回に適時打を放ち、4打数1安打1四球1打点だった。

花巻東は昨秋、今春の県大会でも優勝しており、3季連続での県制覇となった。

全国大会は、8月6日に兵庫県西宮市の阪神甲子園球場で開幕する。組み合わせ抽選は同3日。

詳細は27日付本紙で

ご購入のお申し込みは「岩手日日」販売店、またはフリーダイヤル(0120)260945
◆ 宅配月額3150円。+330円で電子新聞併読プランも。電子新聞単独プランは2445円。※税込み、郵送料別途

PC・スマホでも
いわにち

